



ミネベア株式会社決算説明会
2003年3月期決算

2003(平成15)年 5月16日

代表取締役社長 山本 次男

2003年3月期 連結業績サマリー

(百万円)	2002/3期 通期	2003/3期 通期	前年比 伸び率
売上高	279,344	272,202	-2.6%
営業利益	21,972	19,352	-11.9%
経常利益	15,995	13,420	-16.1%
税引前利益	12,948	495	-96.2%
当期純損益	5,298	△ 2,434	-

第4四半期 セグメント別収益

(百万円)	2002/3期	----- 2003/3期 -----			4Q	4Q 伸び率	
	4Q	1Q	2Q	3Q		前年同期比	前四半期比
〔売上高〕							
機械加工品	31,472	31,668	28,641	28,723	29,085	-7.6%	+1.3%
ベアリング関連製品	25,759	26,420	23,638	23,845	24,035	-6.7%	+0.8%
その他機械加工品	5,715	5,249	5,002	4,879	5,050	-11.6%	+3.5%
電子機器	42,446	40,699	36,241	40,000	37,144	-12.5%	-7.1%
回転機器	21,088	20,793	18,140	20,521	19,734	-6.4%	-3.8%
その他電子機器	21,356	19,908	18,097	19,480	17,412	-18.5%	-10.6%
流通販売ほか	7	—	—	—	—	—	—
合計	73,926	72,367	64,882	68,723	66,230	-10.4%	-3.6%
〔営業利益〕							
機械加工品	4,893	5,098	4,065	4,771	4,585	-6.3%	-3.9%
電子機器	△ 384	933	80	748	△ 929	—	—
流通販売ほか	3	—	—	—	—	—	—
合計	4,512	6,031	4,145	5,519	3,657	-18.9%	-33.7%

第4四半期の状況（第3四半期との比較）

売上高

ベアリング関連製品

ボールベアリング：+2% 外販増加
ロッドエンド・スフェリカルベアリング：+9%
ピボットアッセンブリー：-7%

回転機器

スピンドルモーター：+3% FDB増加
ファンモーター：-11% PC・ゲーム機調整
ステッピングモーター：-6%

その他電子機器

キーボード：-15% PCの調整
エレクトロデバイス：-19% FDD生産終了
パワーエレクトロニクス：-6%

営業利益

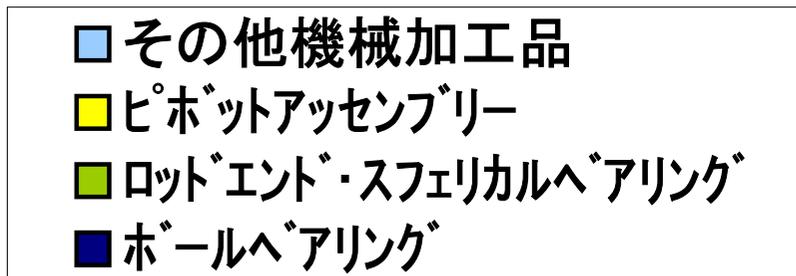
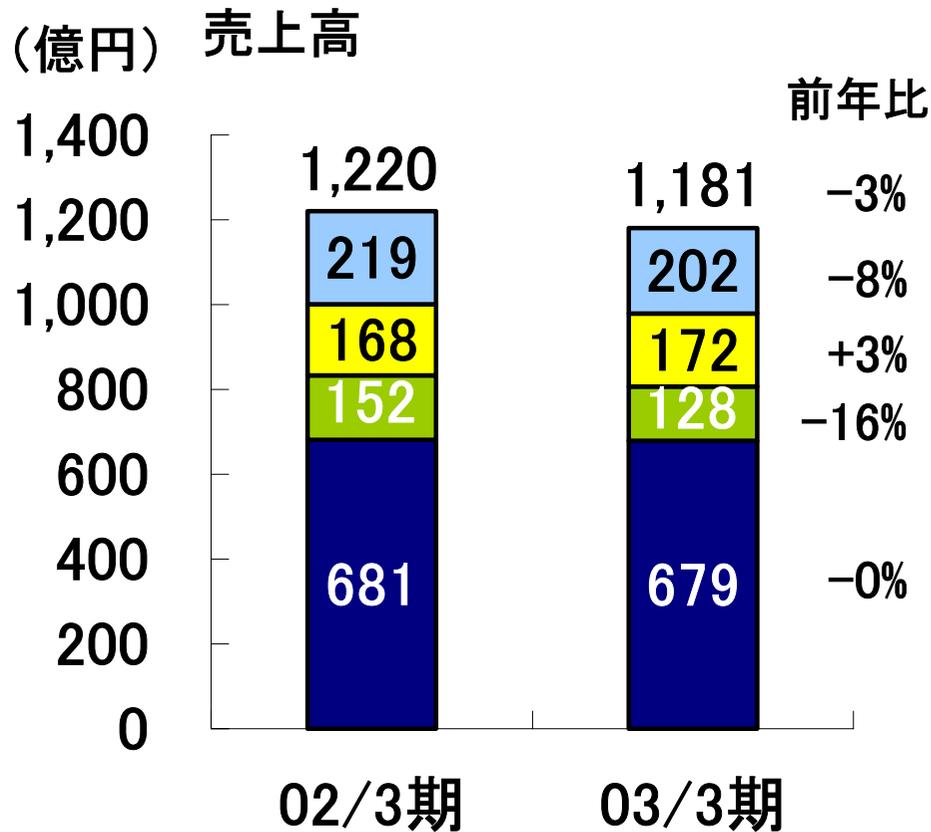
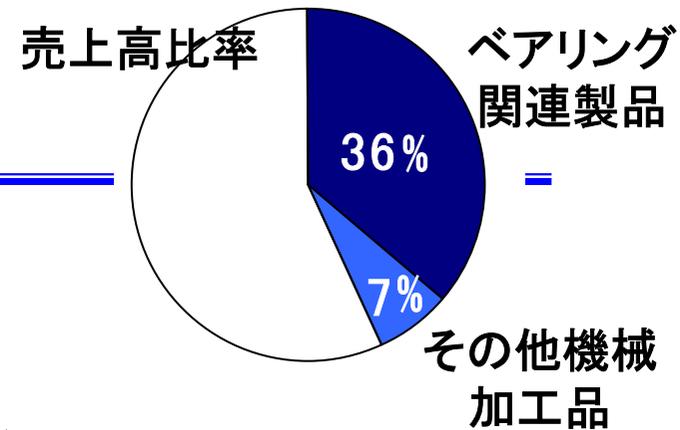
↑ 増加 ベアリング

↓ 減少 キーボード、ファンモーター、スピンドルモーター、エレクトロデバイス、パワーエレクトロニクス

通期 セグメント別収益

(百万円)	2002/3期 通期	2003/3期 通期	前年比 伸び率
〔売上高〕			
機械加工品	122,025	118,117	-3.2%
ベアリング関連製品	100,113	97,938	-2.2%
その他機械加工品	21,911	20,180	-7.9%
電子機器	156,303	154,084	-1.4%
回転機器	76,440	79,188	+3.6%
その他電子機器	79,862	74,897	-6.2%
流通販売ほか	1,016	-	-
合計	279,344	272,202	-2.6%
〔営業利益〕			
機械加工品	22,135	18,519	-16.3%
電子機器	△ 162	832	-
流通販売ほか	△ 0	-	-
合計	21,972	19,352	-11.9%

機械加工品セグメント



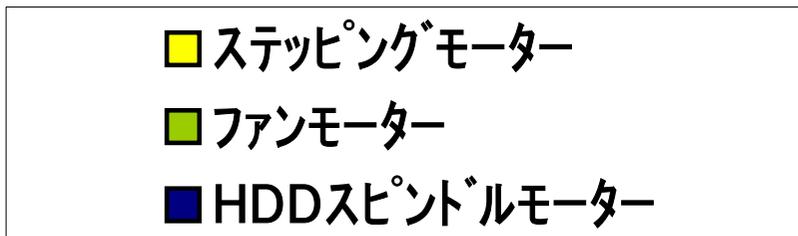
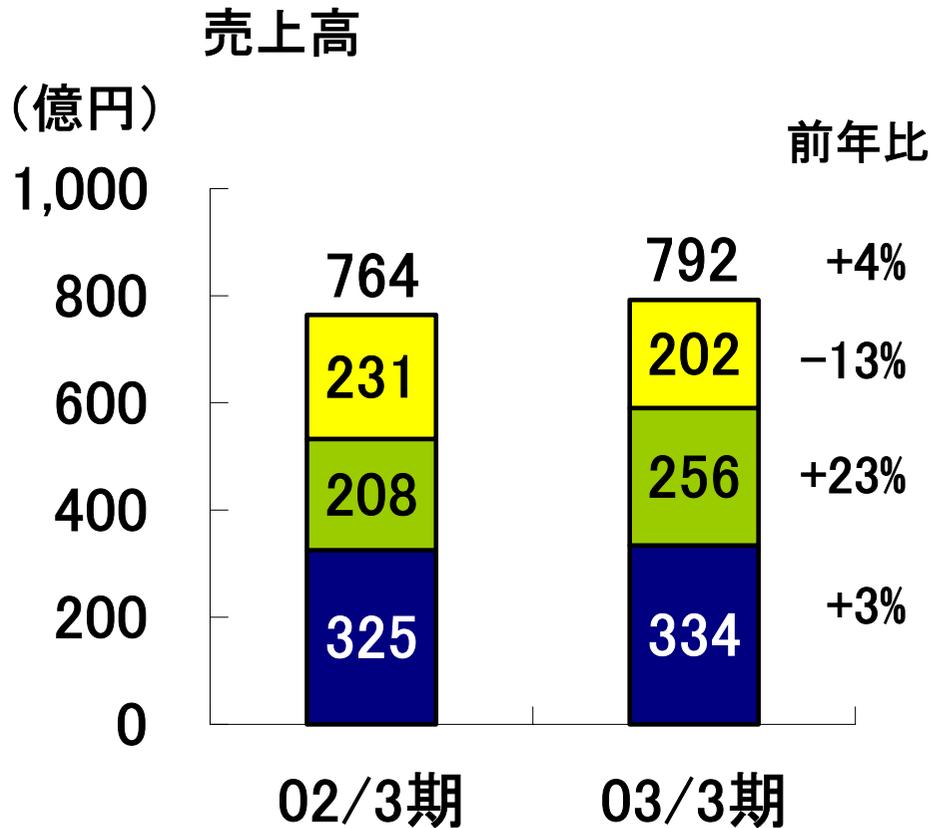
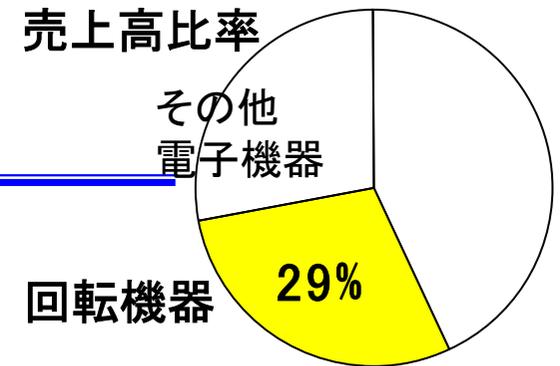
ベアリング関連製品

- ・ ミニチュア・小径ボールベアリングの拡販を実施。
- ・ 航空機業界向けは低迷。
- ・ ピボットアッセンブリーのシェア拡大。

その他機械加工品

- ・ 02/3期に車輪事業を終了。売上への影響はマイナス13億円。

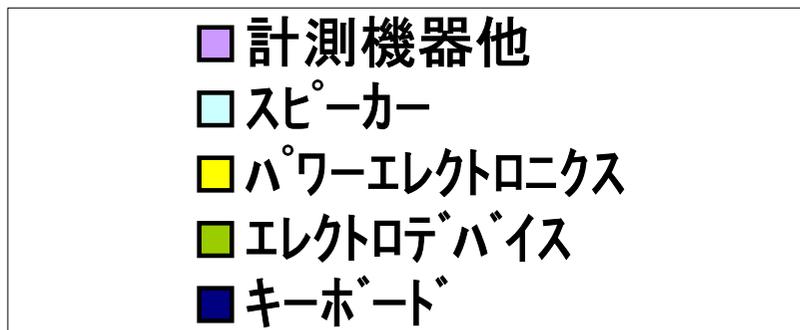
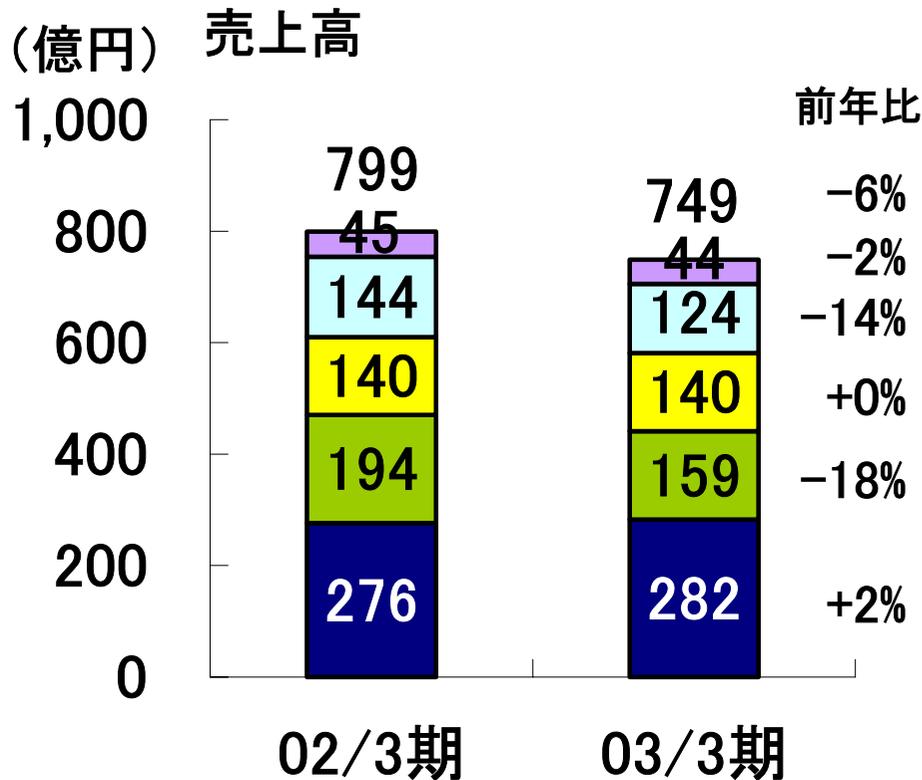
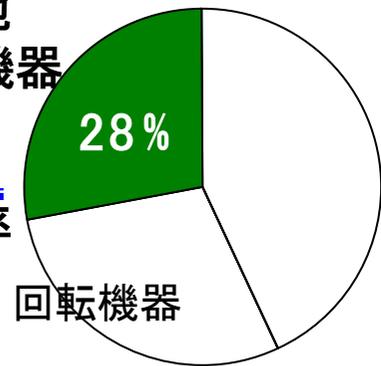
電子機器セグメント 回転機器



- ・ FDBモーター売上拡大により、HDDスピンドルモーターの売上高増加。
- ・ シェア上昇により、ファンモーターの売上高は過去最高。
- ・ ステッピングモーターは、低価格製品比率が上昇。

電子機器セグメント その他電子機器

その他
電子機器

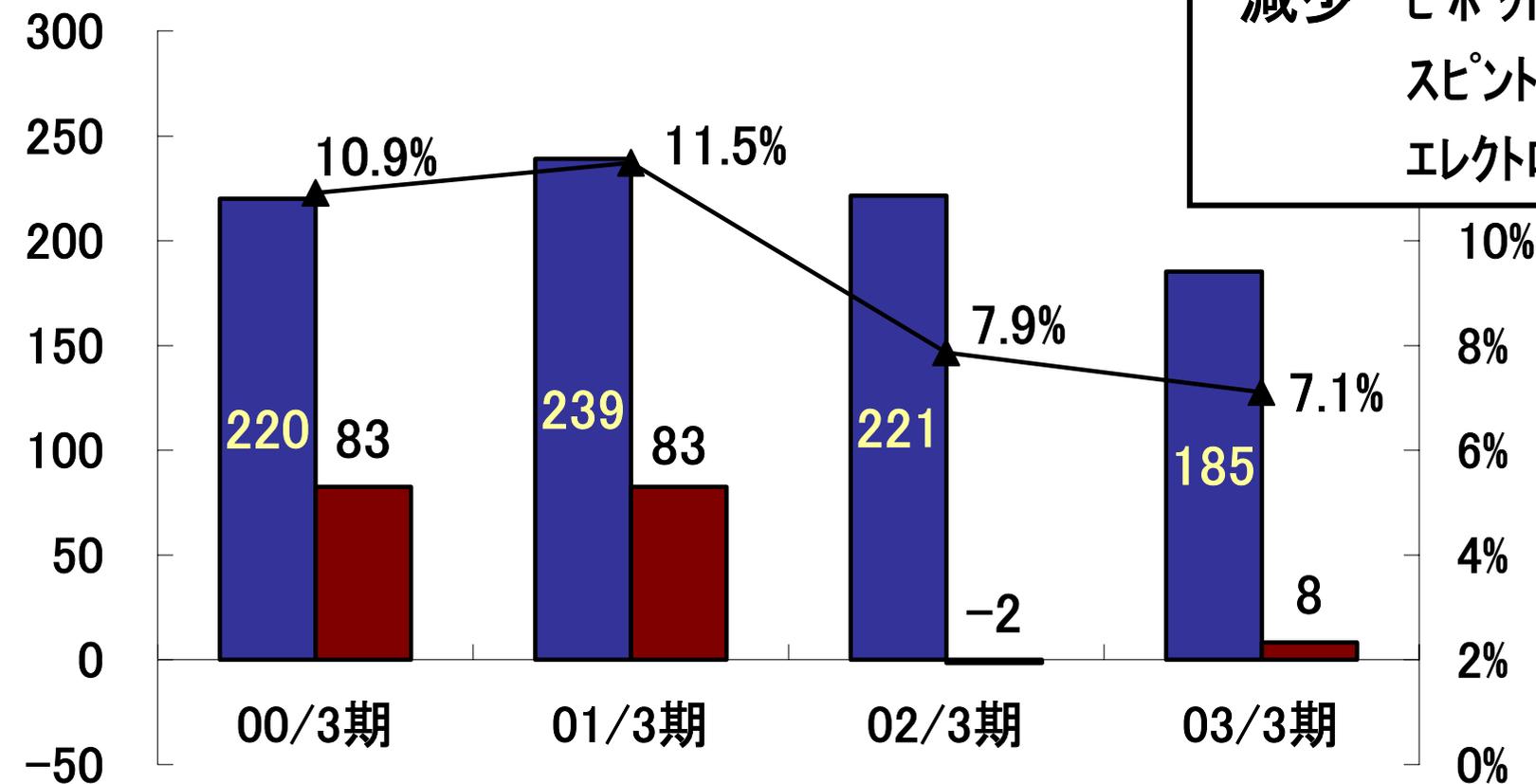


- ・ キーボードは、シェア上昇により、売上高過去最高を更新。
- ・ エレクトロデバイスのうち、昨年11月に終了したFDDの売上の減少は40億円。
- ・ FDDを除くエレクトロデバイスの売上は5%増。ライティングデバイス事業が本格化。

通期 セグメント別営業利益推移

電子機器セグメントの立て直しが必須

(億円)



03/3期対前期比較

増加 ファンモーター

減少 ピボットアッセンブリー
スピンドルモーター
エレクトロデバイス

■ 機械加工品 ■ 電子機器 ▲ 全社営業利益率

通期 用途別・地域別売上高

用途別売上高

	自動車	航空・宇宙	家電機器	情報通信 機器	PC及び 周辺機器	モータ	その他	合計
売上高比率	7.3%	9.6%	10.1%	10.1%	44.5%	5.5%	13.1%	100.0%
前年比 伸び率	-4.1%	-8.6%	-0.2%	-13.1%	+1.1%	+14.7%	-7.5%	-2.6%

地域別売上高

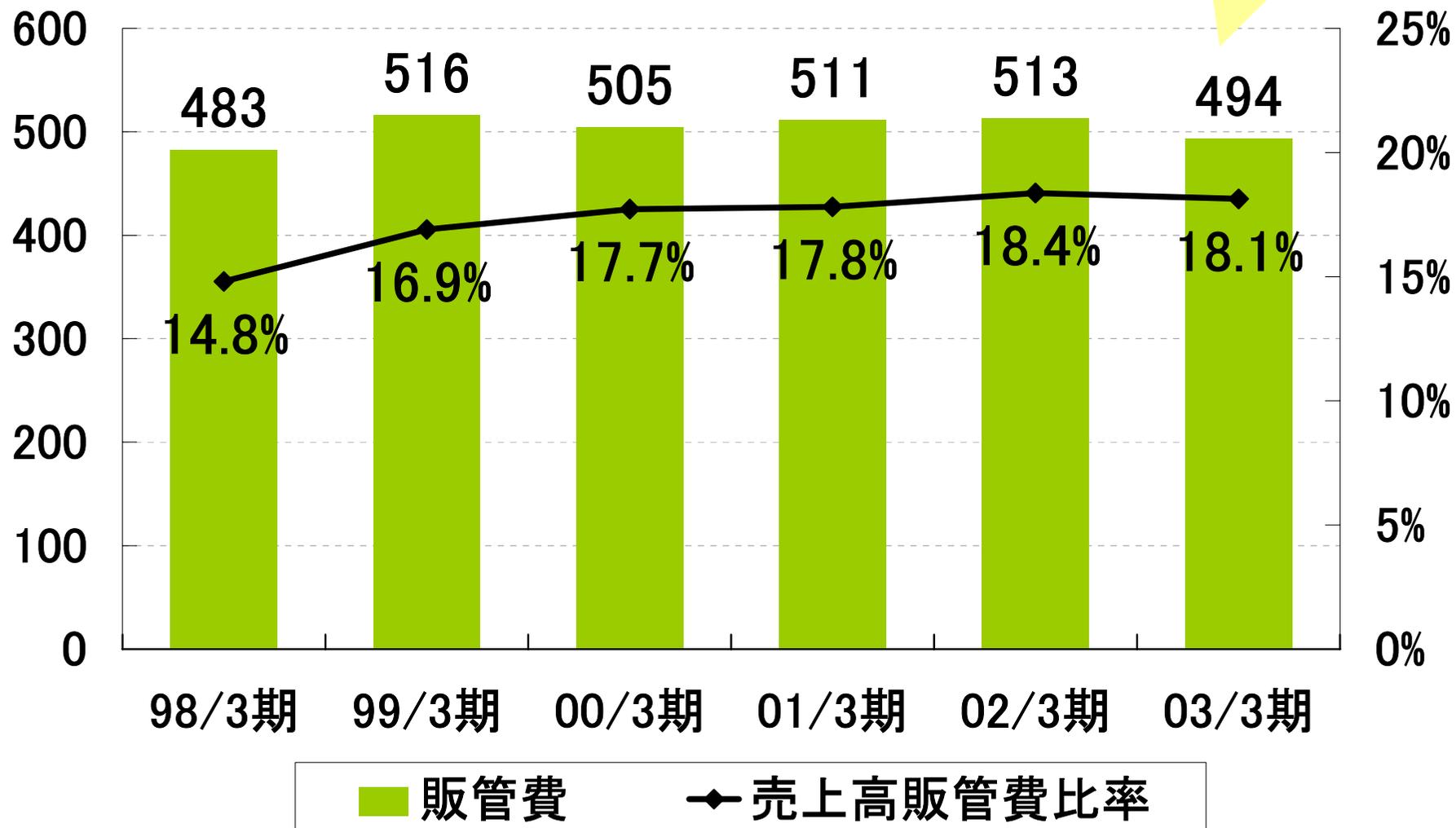
	日本	アジア (除 日本)	北米	欧州	合計
売上高比率	27.1%	39.3%	21.0%	12.6%	100.0%
前年比 伸び率	-11.1%	+10.5%	-6.0%	-11.6%	-2.6%

中国エリアの
売上は4割増

販管費推移

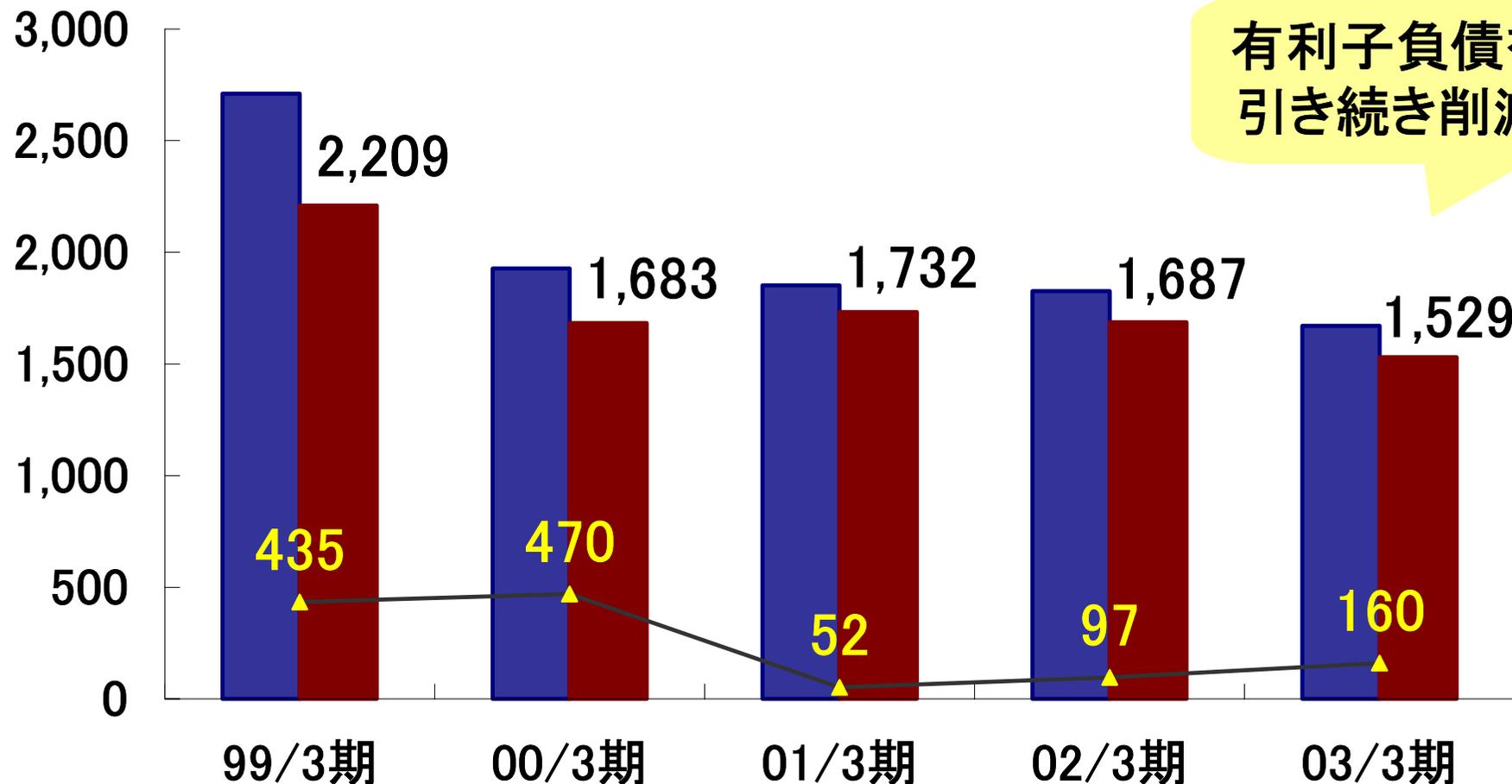
経費削減を
継続

(億円)



有利子負債推移

(億円)



有利子負債を
引き続き削減

■ 有利子負債 ■ ネット有利子負債 ▲ キャッシュフロー

2004年3月期の収益改善対策

1. **スピンドルモーターの黒字化**
 - 上期中に黒字化を実現
2. **ピボットアッセンブリーの採算性改善**
 - 製造方法を見直し、生産効率を改善
3. **その他の電子機器製品事業の収益性回復**
 - 新組織体制の下、効率改善や市場対応を迅速化
 - FDD事業を2003年3月期に終了
 - ライティングデバイスの本格的立ち上げを実現
4. **ファンモーター事業の一層の拡大**
 - 松下モータ社との共同開発ファンを市場投入
5. **電源関連事業の終了**
 - 今年12月までに事業を終了予定

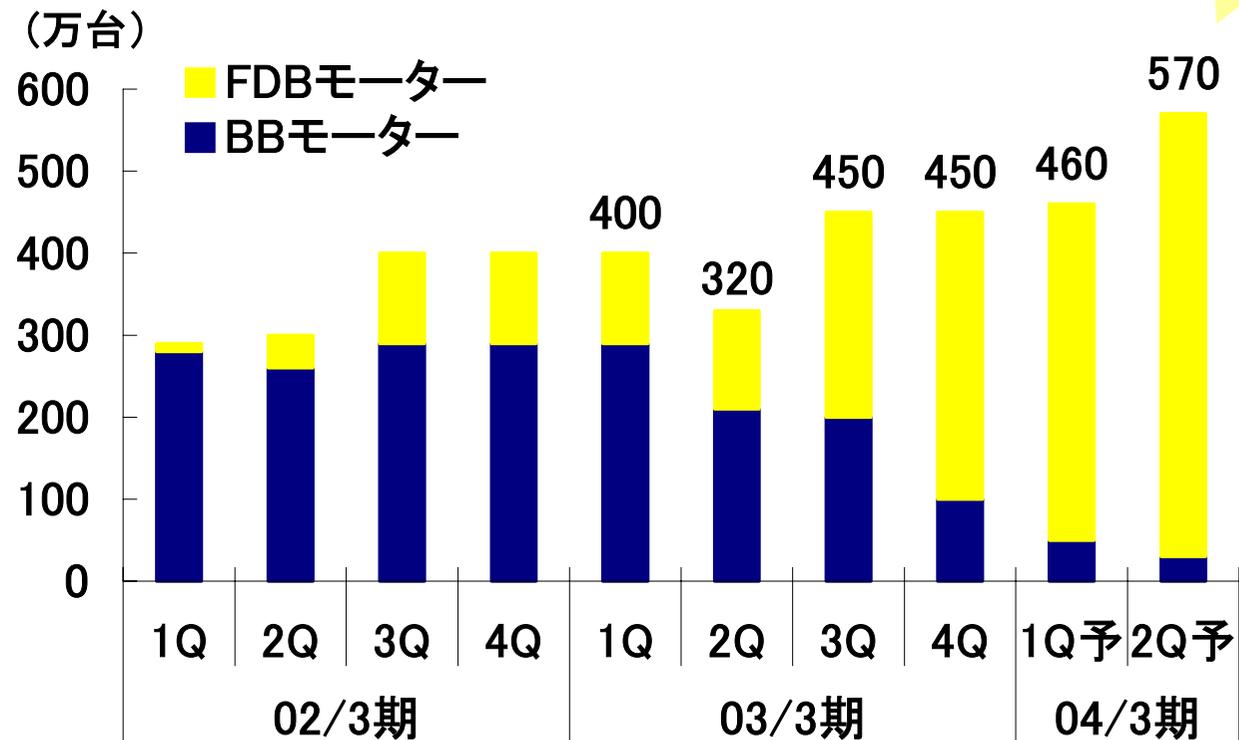
HDDスピンドルモーター事業

今期の課題

- 黒字化を実現
- ハイエンド事業を拡大
- 2.5インチFDBモーターに参入

2003年1-3月
当社業界シェア23%

2004年3月期
目標シェア30%



ファンモーター共同開発

両社技術の融合により、性能向上並びに価格競争力を強化した製品を開発。現在、サンプル活動中。

ミネベア + 松下モータ社

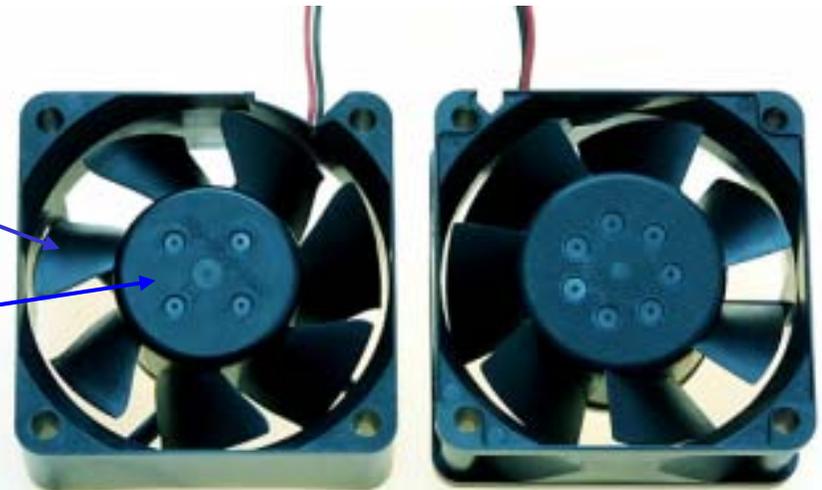
⇒性能・価格競争力世界No.1ファンの設計と製造

特性

- ◇ 高風量
- ◇ 低騒音
- ◇ 低コスト

高風量羽根設計

モータの小口径化



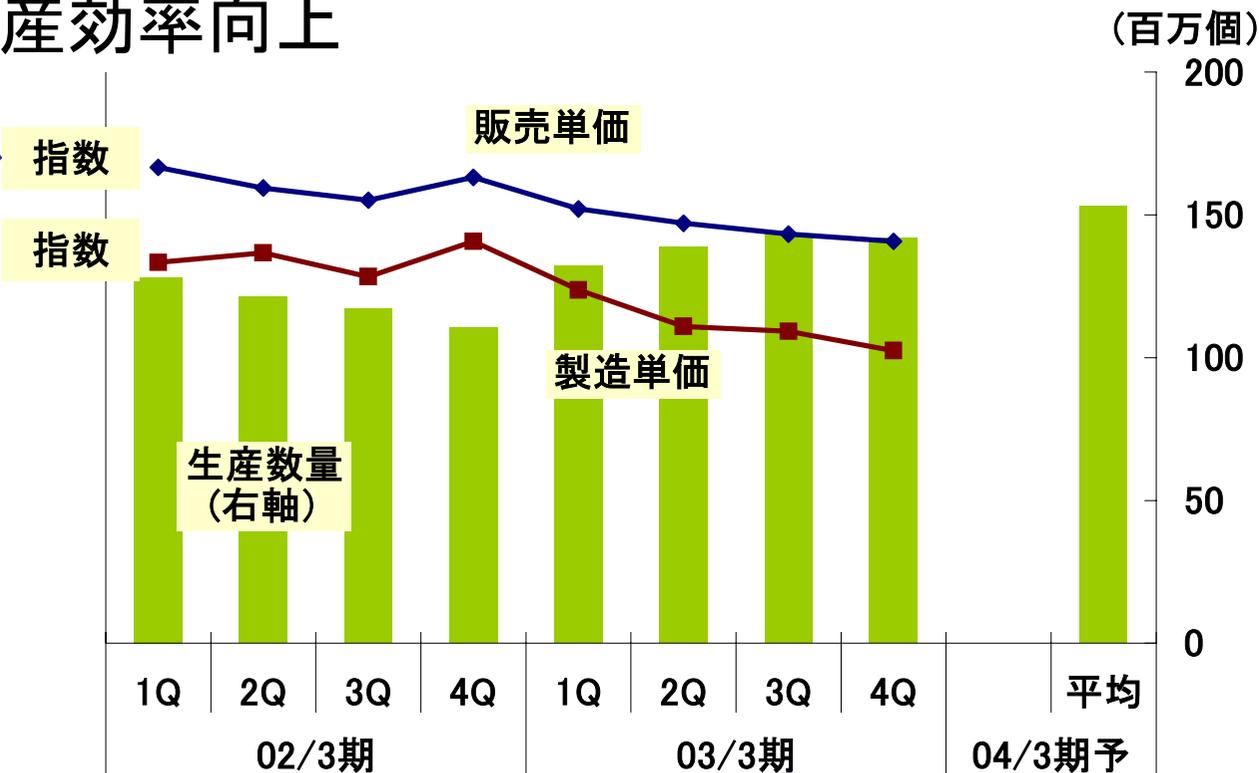
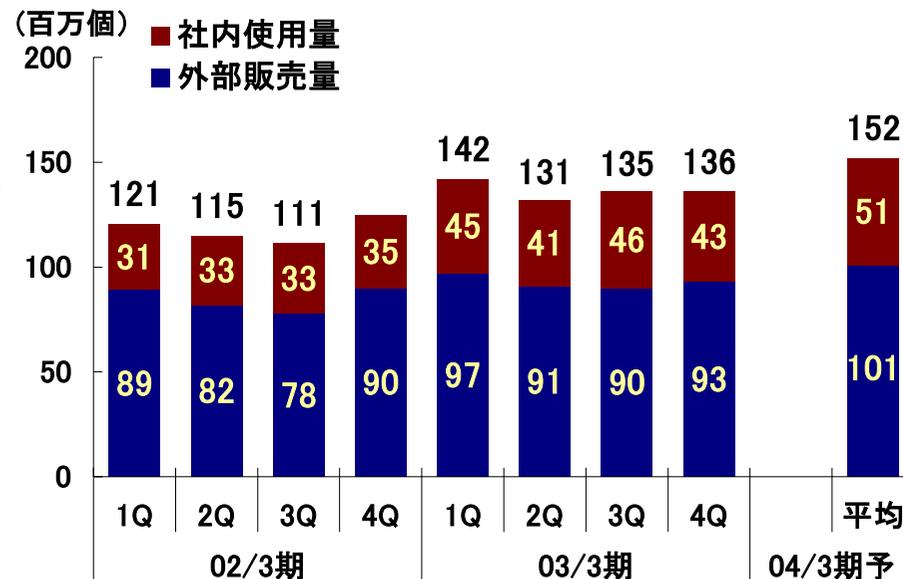
共同開発製品

従来製品

ボールベアリング事業

- 生産能力180百万個/月の確立
⇒ 2003年12月
- 販売 180百万個/月の達成
⇒ 来期中
- 新生産方式の下、生産効率向上

⇒ 絶対的な高シェア
と競争力の確立



SARS対策

- 現時点、SARSによる製造・売上・受注における影響なし。
- 当社の中国製造拠点がある上海では、WHOでは感染者は累計7名と発表。当社最大製造拠点のタイでは累計7名。(5月13日現在)
- 全工場・営業所・事業所で徹底したSARS対策を実施中。
- アジア全拠点にて、予想されるトラブル、各トラブル発生時の対応策を検討、事務所の代替地や補充事務員の確保、システムバックアップ等、事前準備を実施済み。
- 感染防止のための従業員向けガイドラインを設置。
- アジア地域の工場では出勤時会社建物に入る前に体温測定を実施。一部地域では、従業員の行動範囲を規制。
- 在庫の分散を実施済み、一部製品の在庫積み増しを実施中。
- キーボードの上海一部移管をスローダウン、客先の調達方針を見極め中。
- ベアリングは、緊急時には分散生産が十分可能。

組織改革・新組織体制導入

◆ 執行役員制度導入

- 経営判断及び業務執行の迅速性の向上
- 組織・人事の活性化

◆ 製造本部統合・技術本部創設

- メカ製品と電子機器製品の市場及び技術の融合
- 経営資源の有効活用
- 市場への対応のスピードアップ

◆ EVA経営システム導入

- 投資効率の改善
- EVA連動賞与制度の導入

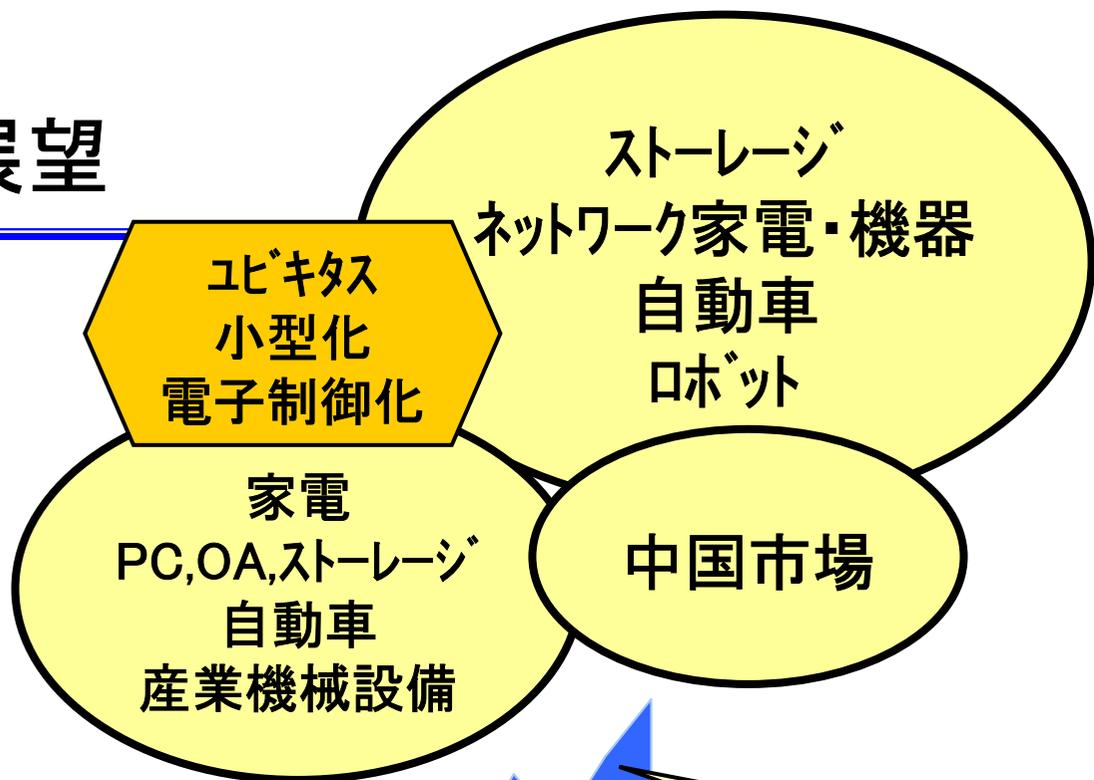
当社製品の市場の展望

当社ミニチュア・小径ベアリング
出荷数量推移

(億個)

20
15
10
5
0

73 77 81 85 89 93 97 01



03年3月期
16億個
04年3月期予定
18億個

成長基盤の整備

ミネベアグループ

世界最強の
総合精密部品メーカー

高い収益力と継続的な成長発展

コア技術・事業に
資源集中

ミネベア

垂直統合生産システム

超精密機械加工技術

大量生産技術

製品開発力の強化
市場への対応の迅速化

提携・M&A

他社

マーケット

技術・新製品開発力

事業撤退終了

電源関連事業からの撤退
FDD事業の終了
IMC Magnetics事業の終了

2004年3月期・2005年3月期業績予想

(百万円)	2003/3期 通期実績	2004/3期 通期予想	前年比 伸び率	2005/3期 通期予想	昨年5月発表 中期計画 第1期 (2003/3期)	昨年5月発表 中期計画 第2期 (2004/3期)	昨年5月発表 中期計画 第3期 (2005/3期)
売上高	272,202	280,000	+2.9%	300,000	288,000	316,800	348,000
営業利益	19,352	21,000	+8.5%	28,000	24,000	33,000	37,000
経常利益	13,420	17,000	+26.7%	25,000	18,500	28,000	33,500
税引前利益	495	16,000	32x	24,000	18,000	27,500	33,000
純利益	-2,434	8,500	-	15,000	10,000	17,000	21,000

中期経営計画を修正

セグメント別収益予想

(百万円)	2003/3期	2004/3期	前年比 伸び率	2005/3期	昨年5月発表 中期計画 第1期 (2003/3期)	昨年5月発表 中期計画 第2期 (2004/3期)	昨年5月発表 中期計画 第3期 (2005/3期)
	通期実績	通期予想		通期予想	通期実績	通期実績	通期実績
〔売上高〕							
機械加工品	118,117	115,000	-2.6%	117,100	118,650	124,250	131,650
ベアリング関連製品	97,938	94,250	-3.8%	96,300	98,800	102,800	108,300
その他機械加工品	20,180	20,750	+2.8%	20,800	19,850	21,450	23,350
電子機器	154,084	165,000	+7.1%	182,900	169,350	192,550	216,350
回転機器	79,188	95,100	+20.1%	109,500	93,450	109,300	128,450
その他電子機器	74,897	69,900	-6.7%	73,400	75,900	83,250	87,900
合計	272,202	280,000	+2.9%	300,000	288,000	316,800	348,000
〔営業利益〕							
機械加工品	18,519	19,600	+5.8%	20,500	22,000	25,250	28,000
電子機器	832	1,400	+68.3%	7,500	2,000	7,750	9,000
合計	19,352	21,000	+8.5%	28,000	24,000	33,000	37,000

ミネベア株式会社決算説明会

<http://www.minebea.co.jp/>

上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。